

(2) 地震活動

ア. 今回の地震の発生場所の詳細と余震の発生状況

図2-1 領域a内の震央分布図
(2000年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2018年7月29日以降の地震を赤く表示
青色の▲は活火山を示す

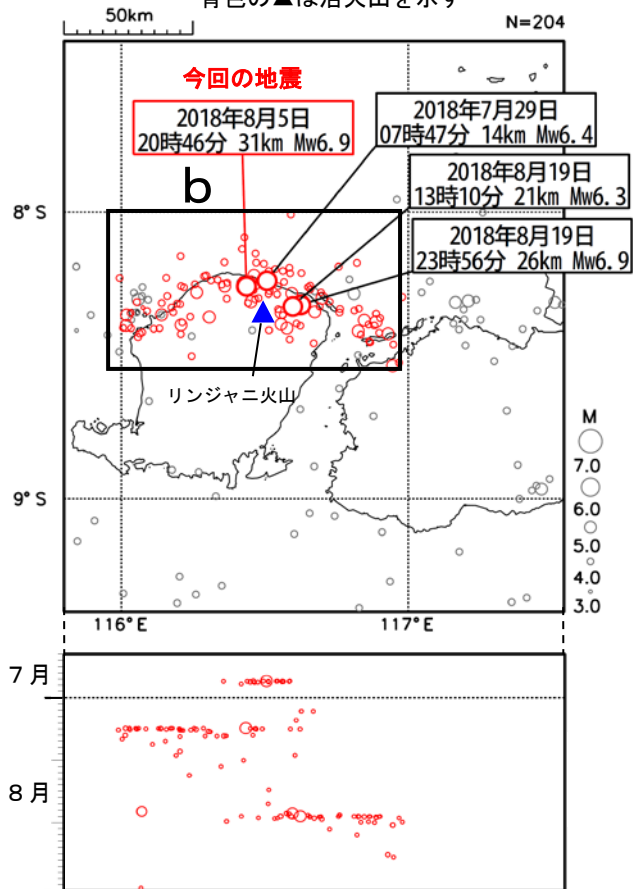


図2-2 領域a内の時空間分布図
(2018年7月25日～8月31日)

今回の地震の震央は、インドネシア中部の小スンダ列島ロンボク島北部にある。震央の南側にはリンジャニ火山がある。今回の地震のすぐ東側で、同年7月29日に Mw6.4 の地震が発生していた。さらに東側では8月19日に Mw6.0 以上の地震が2回発生した。

7月29日の Mw6.4 の地震の発生以降、8月31日までに発生した M3.0 以上の地震は、概ね今回の地震の震央を中心に東西方向に長さ約100km、幅約50kmの範囲に分布しており、今回の地震の発震機構 (CMT 解) から推定される断層面の走向と概ね調和的である。

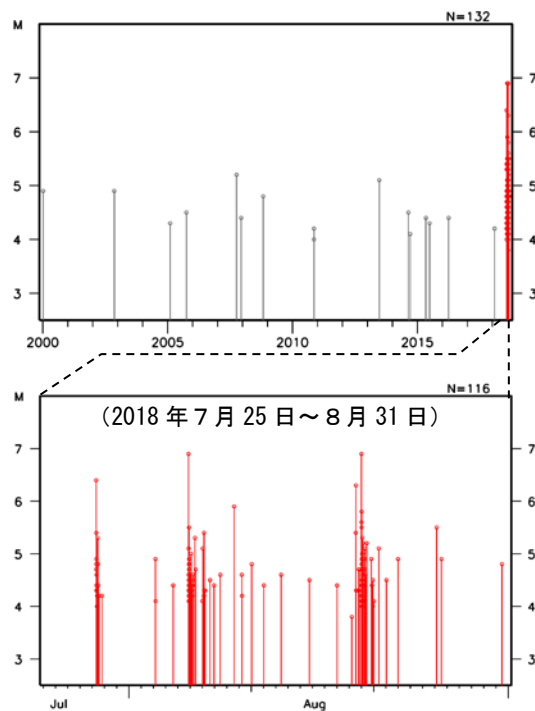


図2-3 領域b内のM-T図

イ. 過去に周辺で発生した主な地震

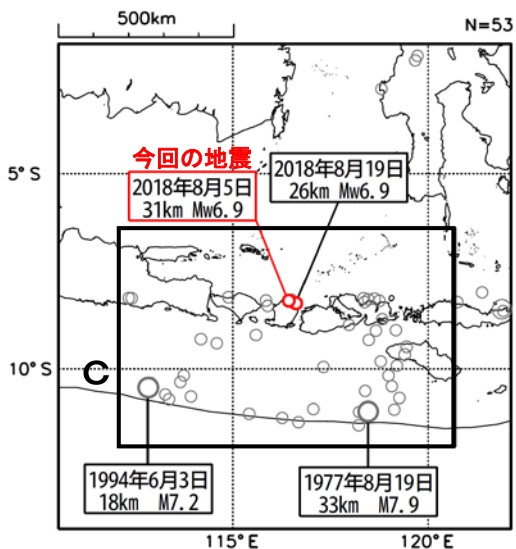
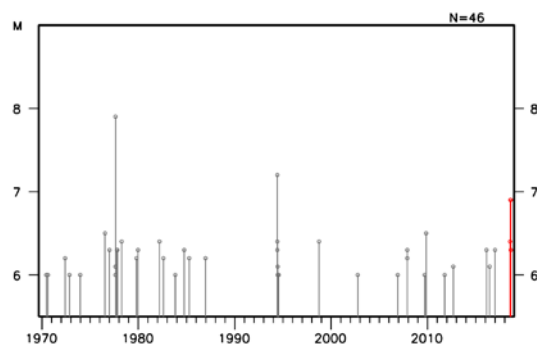


図2-3 震央分布図
(1970年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2018年7月29日以降の地震を赤く表示

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M6.0 以上の地震が度々発生している。1977年8月19日に M7.9 の地震が発生し、現地で死者189人の被害が生じた。また1994年6月3日には M7.2 の地震が発生し、死者277人の被害が発生した。



領域c内のM-T図

※本資料中、1977年8月19日の地震及び1994年6月3日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。